

飲料・食品向けプラスチック容器製造などの備南工業（広島県福山市、小坂章則社長）が事業分野の拡大を進めている。ふた部分も含めた独自の一体成型技術を活用し、医療・福祉や健康食品業界向け容器を相次ぎ商品化した。もう一つの柱である成型機・充てん機分野では、中国で飲料を販売する台湾系大手食品メーカーとの取引を伸ばしている。

医療・福祉や健康食品分野への進出は、少子化の影響で伸び悩むスティック型ジュースや氷アイス向け容器を補うのが目的。需要の夏場集中を回避し、年間を通して安定生産につなげる。医療・福祉向けにはゼ

強い会社になる

備南工業



小坂章則社長

りも設けた。

まず林原グループの健康・医療食品販売会社、エイチプラスヒイ・ライフサイエンス（岡山市）に納入した。小坂社長は

常の飲料用アルミ缶と同様の形状で、取っ手のリングに指を入れ引き抜いた穴から充てんする。ふたと容器が一体で密封性が高く、充てん後の殺菌が可能で、賞味期限をキャップ式の約二倍に延ばせた。全国各地の豆乳メーカーに、充てん機と

械の製造に進出し、ラムネのヒール玉をノズルを使って効率的に洗う技術では特許も取得した。ところが一九六〇年代に大手

備南工業が開発した一体成型のプラスチック容器



プラ容器、医療・福祉に力

成型・充てん機、中国で拡販

「高齢化が進むため病院や福祉施設での需要が高まる」と期待する。

父、故市郎氏が食品冷凍機の製造会社として創業した。ラムネ、サイダーなどを瓶に充てんする機

容器を拡販している。通

型機を主力にした。

容器製造に乗り出したのは八〇年ごろから。缶飲料の普及で、ジュース

需要は国内では大きく伸びないと判断した。ただ

ジュース用にプラスチック容器が引き続き使われ

《現状》一九四七年、小坂鉄工所として創業。五六年から現社名。ジュース、アイスなどのプラスチック容器のほか、充てん機と成型機の製造・販売を手がける。プラスチック容器入りジュースや豆腐用の充てん機製造

見込む。従業員は二十八人。

ている東南アジアでは、同社の機械に対するニーズはなお大きい。

台湾に本拠地を置く総合食品メーカー、旺旺集团との取引は、経済成長が速く中国での飲料消費が拡大をにらんだ。同集団は容器の用途拡大だ。化粧品・洗剤用の新製品や、園芸業界を狙った生分解性容器の研究開発を進めており、経営基盤の強化に役立ちそうだ。

国内市場での次の目標は容器の用途拡大だ。化粧品・洗剤用の新製品や、園芸業界を狙った生分解性容器の研究開発を進めており、経営基盤の強化に役立ちそうだ。

旺旺集团からの現在の受注額は年間二億円前後で、大きな収益源に育つ

（福山支局長 西村正巳）

広島

電話 082-244-1155
山 084-932-13345

